音標漁港			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
5.0m	30分	38分	39分

案内図

凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで最も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」

津波浸水想定区域図　市町村別図　表紙　雄武町（全4図面）

[留意事項]
- ○ 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- ○ 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を 設定するものです。
- ○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- ○ 浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深さらに大きくなったりする場合もあります。
- ○ この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- ○ 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
- ○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- ○ 地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで表した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
- ○ 一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
- ○ 津波は自然現象であることから、想定には不確実性を伴います。また、今回想定は、限られた条件設定のもと想定したもので、条件設定（路面凍結や河川流量、構造物の破壊状況）の違いによる不確実性を含むものであるため、今回想定の津波高等はある程度幅を持っており、必ずしも今回の想定結果とおりにとは限らず、場合によってこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
- ○ 「津波浸水想定」の浸水域、浸水深や到達時間は、市町村による避難計画策定を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないこと、住民に対しては、自らできる限り迅速かつできる限り高く安全な場所を目指して避難するよう、徹底していく必要があることにご注意ください。
- ○ 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

凡　例

浸水深(m)
- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分

※図2参照
±0.2m：　津波影響開始時間
第1波　：　津波第1波到達時間
最大波：　最大津波到達時間

※注1　各種高さの模式図（図1参照）
最大水位は、代表地点周辺における最高の津波高さ（標高）です。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
浸水域は、海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域です。

※注2　津波影響開始時間と津波到達時間（図2参照）
津波影響開始時間は、地震による地盤沈下に伴い低下した地震発生直後の海面（初期水位）に、±20cmの変動が生じるまでの時間。
地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
なお、最大波は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
また、実際の津波到達予想時間はこれよりも早くなる場合もあります。

図1　各種高さの模式図

図2

N
S
0　5　10　15　20km

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 187 」

幌内漁港			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
6.6m	29分	36分	36分

案内図

凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで最も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 187 」

音稲府岬			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
4.0m	28分	34分	34分

魚田			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
5.9m	29分	35分	35分

元稲布漁港			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
5.4m	28分	37分	37分

雄武漁港			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
6.4m	29分	36分	36分

案内図

凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	○○分	○○分	○○分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで最も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 187 」

津波浸水想定区域図　雄武町　【3／4】

川尻			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
6.4m	29分	36分	36分

案内図

凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで最も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」

元沢木			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
7.9m	28分	34分	34分

沢木漁港			
最大津波高	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
8.5m	27分	33分	33分

案内図

凡　例

浸水深(m)

- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分

※代表地点の津波諸元は、全ケースで最も大きくなる最大津波高、最短の到達時間となる諸元を表示。

N
S

縮尺　1　：　25,000

「 測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R 4JHs 187 」

津波浸水想定区域図　市町村別図　表紙　興部町（全2図面）

[留意事項]
- ○ 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- ○ 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を 設定するものです。
- ○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- ○ 浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深さらに大きくなったりする場合もあります。
- ○ この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- ○ 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
- ○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- ○ 地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで表した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
- ○ 一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
- ○ 津波は自然現象であることから、想定には不確実性を伴います。また、今回想定は、限られた条件設定のもと想定したもので、条件設定（路面凍結や河川流量、構造物の破壊状況）の違いによる不確実性を含むものであるため、今回想定の津波高等はある程度幅を持っており、必ずしも今回の想定結果とおりにとは限らず、場合によってこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
- ○ 「津波浸水想定」の浸水域、浸水深や到達時間は、市町村による避難計画策定を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないこと、住民に対しては、自らできる限り迅速かつできる限り高く安全な場所を目指して避難するよう、徹底していく必要があることにご注意ください。
- ○ 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

凡　例

浸水深(m)
- 20m以上
- 10m以上～20m未満
- 5m以上～10m未満
- 3m以上～5m未満
- 1m以上～3m未満
- 0.5m以上～1m未満
- 0.3m以上～0.5m未満
- ～0.3m未満

●代表地点周辺で予測される津波諸元

地点名			
最大津波高（T.P.m）	影響開始時間	（参考）	
	±20cm	第1波	最大波
O.Om	OO分	OO分	OO分

※図2参照
±0.2m：　津波影響開始時間
第1波　：　津波第1波到達時間
最大波：　最大津波到達時間

※注１　各種高さの模式図（図１参照）
最大水位は、代表地点周辺における最高の津波高さ（標高）です。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
浸水域は、海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域です。

※注２　津波影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
津波影響開始時間は、地震による地盤沈下に伴い低下した地震発生直後の海面（初期水位）に、±20cmの変動が生じるまでの時間。
地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
なお、最大波は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
また、実際の津波到達予想時間はこれよりも早くなる場合もあります。

図1　各種高さの模式図

図2

N　S
2000　0　1000　2000　4000　6000m

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 187」